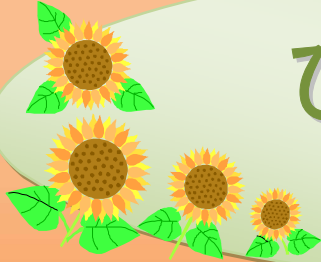


養護盲老人ホーム

福寿園 monthly

平成 22年 10月 7日 (木) 発行 第 011号



ひまわり写真館

～ 夏のおもひで～



今年も納涼大会が盛大に行われました。盆踊りは皆で盛り上げて楽しみました。

今年も庭でキュウリが大豊作！毎日せっせと世話をし、俺の顔よりでっかく育ったぞ！！



夏の夜長はみんな大好きカラオケスナック テーマはハワイアン アロハー！



誕生日会で田原市の「どんぶり街道」を堪能してきました。うーん、美味！



皆さん昔の藁草履を思い出しながらタオルで草履を編みました。手先が器用です！



田原の夜店にも繰り出しました。ビールにカラアゲ、夏って最高！

今年も皆さんの笑顔と共に、たくさんの素敵な思い出が詰まった夏でした。

クラブ紹介 其の6 ～点字クラブ～

点字クラブは、盲養護開設時より始まり、視覚障害の方達の大切な勉強の場になっています。講師は杉田妙子先生にボランティアにてご指導頂いており、現在13名が参加しています。中途失明者が増える中、点字を習得したいと意欲的な入所者も増え、ベテランから初心者まで、毎回和気あいあいとした楽しいクラブとなっています。今後も頭の活性化や、生涯教育として取り組んでいきたいと思っています。



福寿園の道程(8)

県下初の施設だった為、視覚障害の他に重複障害の方も多くあり、在宅での生活が困窮しており、50代での入所の方も数名ありました。先天性の他、病気や事故による中途失明、入院先からそのまま入所の方もあり、生活に楽しみや潤い、活性化を・・・と数カ月して、三味線、民謡、詩吟、器楽、点字のクラブを発足しました。三味線と民謡は故山田名誉理事長が講師に。三味線には職員も加わりましたが、触ったことも無ければ、撥など以外の外、肩は凝り、指は痛くなり、足は痺れ、三味線は膝からずり落ちるなど散々でしたが、徐々に慣れレパートリーも多くなりました。職員よりも入所者の皆さんの上達が速く、今でもこんな笑い話が残っています。「寮母さん、ここんところが分からんで教えて欲しい。」と言われ、「ちょっと待ってね。楽譜を見るね。」と言った職員に、「目開きは不自由だね。」と言われたり、音合わせに笛で合わせても「その音高いよ(低いよ)。」と随分入所者の方に職員が指導を受けました。残念ながら現在三味線は職員のサークルといしてのみ存続しています。

器楽では、ハーモニカは数名の方が嗜んでいましたが、楽譜を手にしたことのある方は皆無に近く、まさに手取り足取り、途中挫折する人も多く、その度に励ましたり、間を置いたり、少しずつ完成していく達成感や、発表会で拍手を頂く喜びなどが自信に繋がり、今ではクラブ員も30数名に膨れ上がり、文化祭ではもちろん、市の芸能大会などにも参加しています。講師は30年間同じ先生がお二人熱心にご指導して下さいます。10数年前から大正琴も加わり、素晴らしいコラボレーションになっています。

現在、10のクラブがそれぞれ活動しております。

施設長 齊藤久代

相談員より ~ 視覚障害とは ~

私たちは、眼に障害がある場合、となく視力障害と言ってしまいがちですが、視力と言うのは視力・視野・光覚・両眼視・色覚・調整力など、いろいろな眼の働きのひとつですから、眼の障害は普通、視覚障害と言います。

視覚と言う感覚機能のひとつとして、視力があります。ですから、視覚と視力とははっきりと違うので、視覚障害と視力障害と言う言葉の使い方も注意が必要です。

ここで、眼の働きについてまとめてみました。

視力	物の形を見分ける能力を言います
視野	視線を固定して見渡せる範囲を言います
光覚	光を感じてそれに眼が慣れる能力を言います
両眼視	両眼で立体的に、また遠近感を持って物を見る能力を言います。これにより物の距離、奥行、方向等を知ります
色覚	色を感じる眼の能力を言います
調整力	水晶体の屈折力が変化して、遠方から近いものまで見る能力を言います

日常生活をスムーズに過ごせるかどうかは、視力と視野の障害が特に問題となります。視力障害を持つ人々への生活支援においては、視覚障害についての基本的な理解がなされることで、日常生活における本人の生活のしづらさがどのようなところにみられ、どの程度の支援が必要か、またサービス機関の利用については、どのような情報の提供が有効であるかが予想できます。そのため視覚障害者の専門施設の職員として障害に対する知識を深める必要性を日々感じております。

次回は、目が見えないとは医学的にはどういうことなのか、盲の定義についてお伝えしたいと思います。

Tさんは昨年、他施設で生活していた夫が亡くなりました。入院、見舞い、そして亡くなった後の家の片付けなど、家族と何度も外出する日々が続きました。その頃、ぼんやりとした表情や物忘れのような言動もあり、気になったものでした。

先日、地域の運動会への招待があり、小学校へ出掛けました。校庭に背より高い鉄棒がありました。手に触らせてあげるとTさんは突然鉄棒にぶら下がりました。子供に戻ったかのような笑顔で。少しずつ前向きになっているTさんを感じました。

~ 現場より ~

10月26日に退所予定者が1名おります。

待機者は**ございません**。入所相談等ありましたら、ぜひご連絡下さい。よろしくお願ひします。

平成22年 10月7日(木)現在

定員 80名 現在入所者 80名

ショートステイ:定員4名 現在入所 1名

担当者:生活相談員:山森達也 主任支援員:林美恵子

〒441-3413

愛知県田原市六連町神ノ釜 9-3

TEL:0531-27-0008

FAX:0531-27-0828

URL:<http://www.fukujuen.or.jp>

E-mail:honbu@fukujuen.or.jp